

2023.11.14 福岡37会

紅葉を訪ねて

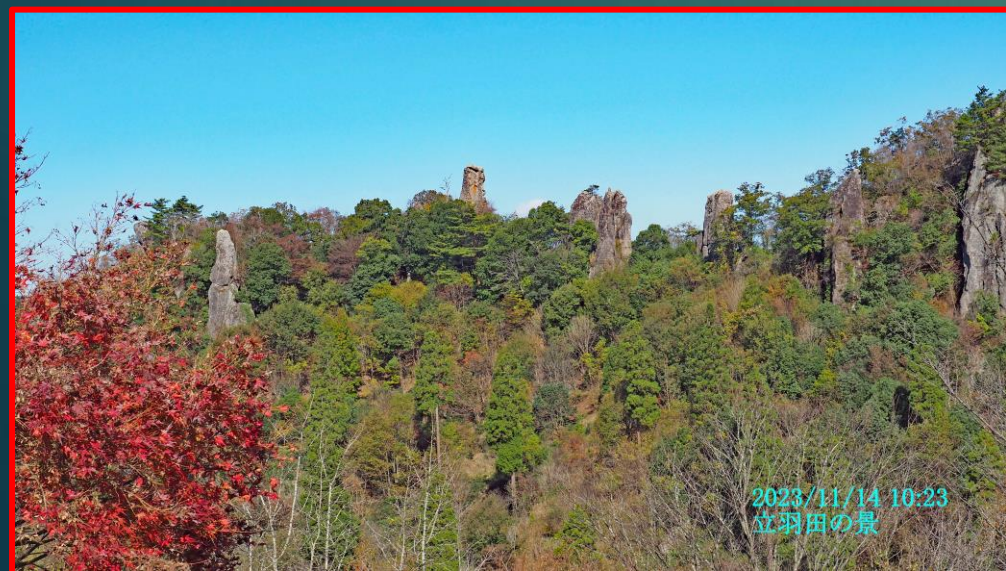
(一目八景、伊福の景、立羽田の景、魔林峡、猿飛甌穴群、英彦山高住神社、大権現、湯の谷別院)



2023/11/14 8:29
深耶馬溪・一目八景



2023/11/14 9:34
伊福の景



2023/11/14 10:23
立羽田の景



英彦山大権現

2023/11/14
13:48



2023/11/15 21:45
不動明王像





2023/11/14 8:28
深耶馬溪・一目八景



2023/11/14 8:34
深耶馬溪・一目八景



2023/11/14 8:28
深耶馬溪・一目八景

一目八景



2023/11/14 8:29
深耶馬溪・一目八景

伊福の景

2023/11/14 9:24
伊福の景





2023/11/14 9:34
伊福の景

後藤又兵衛基次の墓

戦国の武将後藤又兵衛は、永祿三年（一五六〇年）播州で生れ、父基国は同じ播磨の国、三木城主別所代の家臣で、誠実果敢の重将であったが、又兵衛がまだ少年の頃若くして自刃した。父の遺言により同輩の小寺勘兵衛（後の黒田孝隆）に仕えて身心を鍛え、その心の豪胆さと剣槍の練術により、名実共に天下に聞えた勇将となった。天正十五年三月（一五八七年）秀吉の九州征討のとき、第一鋒の黒田勘兵衛について南下し、黒田が豊前中津に入封して国内の土豪を鎮定するとき、城井谷の剛将、宇都宮鎮房を降伏させた功勞が大であったという。後、黒田如水、長政父子が筑前博多（福岡）へ入封すると、黒田二十四勇子の猛将として一万六千石を与えられて、大隈城主となったが、黒田親子とも間隙を生じて浪人となり、細川忠興をはじめ諸国の大名から招かれたがこれを受けず、旧主（黒田如水、長政）の邪魔などあつて、ことごとく辞し、大阪の陣が起ると、秀頼の招きに応じ入城、夏の陣では大和方面に出馬して戦功があつたが、道明寺河原で討ち死にしたと伝えられている。しかし一説には大阪方の敗戦の後は放浪の旅で西下し、縁故のあるこの地へ落ちのび隠棲の中で豊臣家再興を期していたが風の便りに豊臣家産嫡の不運を知り、遂に自刃したと伝えられる。

しばらく時が過ぎて村人は、この自刃した武士が後藤又兵衛であつたことを知り墓を建てたが、後に伊福茂助が昔の墓の荒廢を見かねて建てかえたのが宝暦十三年であつた。

中津市教育委員会





2023/11/14 9:46
伊福の景

立羽田の景



2023/11/14 10:06
立羽田の景



2023/11/14
10:09



2023/11/14 10:09
自然公園ふれあい市



2023/11/14 10:15 立羽田の景



2023/11/14 10:20



2023/11/14 10:20
立羽田の景



2023/11/14 10:23
立羽田の景



2023/11/14 10:24
立羽田の景・駐車場のイチョウ



2023/11/14 10:21
立羽田の景

A landscape photograph showing a mountain with several prominent, dark, jagged rock formations. The mountain is covered with a mix of green and autumn-colored trees. In the foreground, a large, full-canopied tree with bright yellow-green leaves stands on the right side. The sky is a clear, bright blue. The overall scene is a scenic view of a mountain landscape during autumn.

2023/11/14 10:26
立羽田の景とイチョウ

道の駅やまくに



2023/11/14 10:48
道の駅やまくに



2023/11/14 11:03
昼食は肉うどん



永生年間（1504～1520）「犬の頭太郎」（犬王丸）は、この中摩地域を猪や鹿の害獣から守り、子供を水難より救い、事故から人を救助し、盗賊から村を守りました。またある時、小倉藩で3人もの人を殺し、守実の大歳祖神社に逃げ込んだ、凶悪な大男の盗賊を退治し有名になった。犬の名前を「犬頭太郎」と言い、後に「犬王丸」と呼ばれるようになりました。そして豊前一円にその名が知られるようになりました。犬頭太郎は5匹兄弟の頭として中摩地域一円を兄弟犬と共に守り、害獣や盗賊の居ない住みよい郷となりました。これも犬の頭、太郎丸のお陰だと讃え、500年後の今日まで、この地域の名前となり、ここを「犬王丸」と呼んでいます。その犬の墓が、この地より50メートル上の堂様の横に、犬王丸地域を眺めているように建っています。どうぞこの名犬にお参りしてご利益を授かって下さい。 犬頭太郎（犬王丸）保存会

魔林峡(まばやしきょう)



2023/11/14 11:42



ウルシ(漆)
ウルシ科 落葉高木



ヤイトバナ(灸花) アカネ科
別名:サオトメバナ、ヘクソカズラ



ヤイトバナ(灸花) アカネ科
別名:サオトメバナ、ヘクソカズラ



サツキ(皁) ツバキ科



2023/11/14 11:51
魔林峡(まばやしきょう)

2023/11/14 11:53
魔林峡(まばやしきょう)





2023/11/14 11:54
魔林峡(まばやしきょう)



2023/11/14 11:57
魔林峡(まばやしきょう)



2023/11/14 12:00
魔林峡(まばやしきょう)

念仏橋

念ねん仏ぶつ橋はしの景

(名勝耶馬溪)
昭和十一年指定

念仏橋上下流域にわたる深い峡谷で、河床をつくるのは、上流の千壺峡(猿飛甌穴群)と同じく変朽安山岩である。だから水流によつて先ず無数の甌穴が生じ、それが発達して巨大なものになり、次に隣り合う甌穴との間の壁が破壊されて今見る如き切り立った深い峡谷が出来た。つまりこの峡谷は、つらなる甌穴が水流に串刺しにされたものと云えよう。

険しい岩壁を降りて峡底に達することは困難だがこれをおして降りて見れば、そこに切り立った岩壁と深淵の連続した幽邃極まりない風景を見ることができるとある。

ちなみに、この念仏橋は昭和三年に架けられた石造りのめがね橋である。

中津市教育委員会

2023/11/14
12:07



2023/11/14 12:09
念仏橋
7月の豪雨で一部破壊

愛国町村第523号



2023/11/14 12:08
念仏橋



ノコンギク(野紺菊)
キク科

さるとび村



さるとび村

かかしアトリエを巡ってキーワードを探そう!

かかしアトリエマップ

展示期間：10月29日(日)～11月19日(日)まで



5つのキーワードを探して山田の豪華特産品をゲットしよう!

抽選で特産品(お米、豚肉、甘酒、お食事券など)が当たります。

応募期間 2023.10.29(日)～11.30(水)

答え 「〇〇〇〇〇」

応募締切 2023.11.30(水)必着

●応募方法
 官製はがきに「答え」、「郵便番号」、「住所」、「氏名」、「連絡先」を記入し、〒071-0795、大分県中津市山田町守家130番地、中津市山田支所地域振興課内「かかしアトリエを巡ってキーワードを探そう!」係まで、応募はお一人様最大1枚までです。
 ※当選者の発表は景品の発送をもってかえさせていただきます。

2023/11/14 12:18



2023/11/14 12:18



2023/11/14 12:19

猿飛甌穴群

猿飛甌穴群

国指定天然記念物
昭和十年六月七日指定

大昔、瀬戸内海と有明海はつながっていて、この地域は海底でした。そのころ筑紫山脈の南岩に近い海底の溶岩が噴出して、変朽安山岩ができました。その後、数次にわたる火山噴出物の堆積地殻の隆起などの過程を経て、地表に露出してきました。

これらの岩石は、溝部式変朽安山岩と呼ばれており、岩石のくぼみに溜まった、同じ性質の礫(小石)が水流で回転することにより岩が削られ、長い年月をかけ深い穴(甌穴)が造られていったのです。

このように、岩質・水量・流速と条件が揃った時にできる大変珍しい現象なので、国指定天然記念物に指定されました。

また、「猿飛」という名は、昔、山猿が岩から岩を飛び回っていたことから付けられました。

中津市教育委員会

令和三年四月

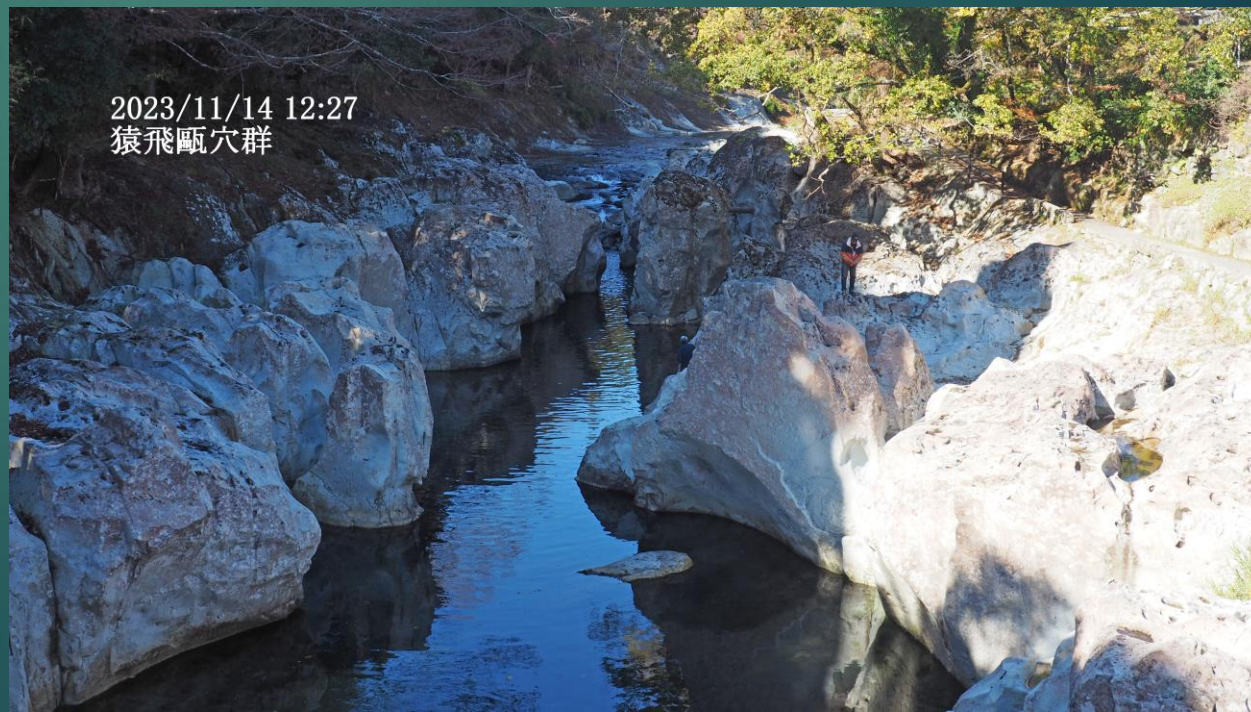
2023/11/14 12:20

2023/11/14 12:20

天然記念物
猿飛飛甌穴群



2023/11/14 12:22



2023/11/14 12:27
猿飛甌穴群

2023/11/14 12:31
猿飛甌穴群



英彦山高住神社



2023/11/14 13:07
英彦山・高住神社



大天狗の宮 家運隆昌 祈願
豊前坊 高住神社 牛馬安全 火
交通安全

2023/11/14 13:17
英彦山・高住神社



2023/11/14 13:14
英彦山・高住神社



2023/11/14 13:14
英彦山・高住神社

英彦山大権現



2023/11/14 13:36
英彦山大権現駐車場

英彦山大権現

英彦山大権現 湯の谷別院

至神宮
至英彦山大権現

国道500号

案内看板

冠木門

庭園

もみじ庵

英彦山不動明王
現在地より車で4~5分下る
(案内看板あり)



御社

十六佛

手水鉢

遊歩道

塞ノ神

古墓

庚申

修行大師

白寿観音

鐘樓

鬼子母神

慈母観音

英彦山無縁之堂

子育て蔵

記念碑

風花流水の碑

鳥居

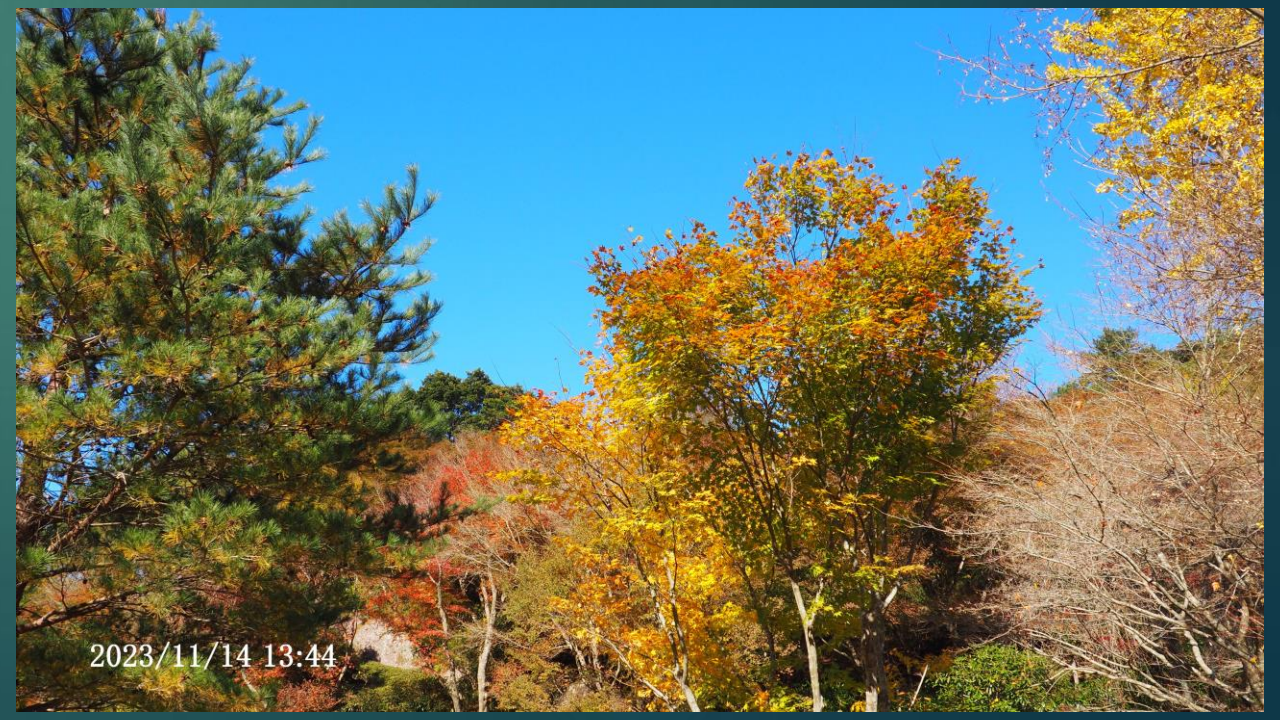
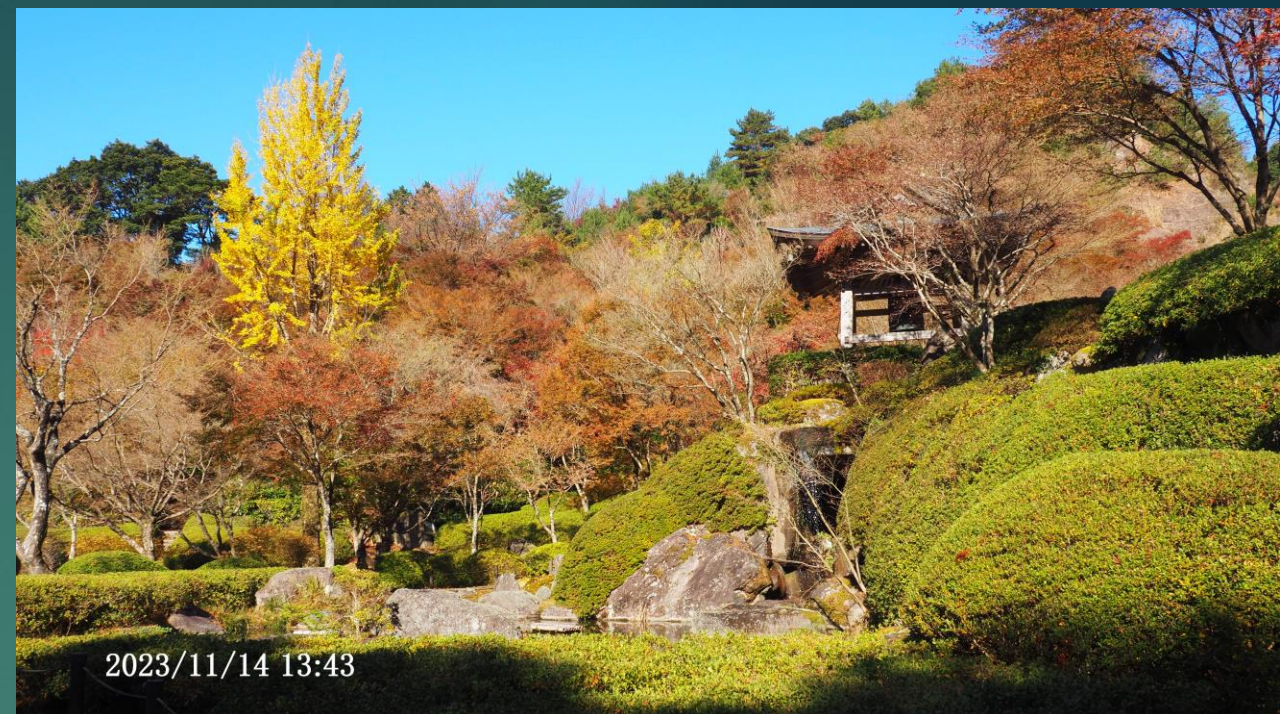
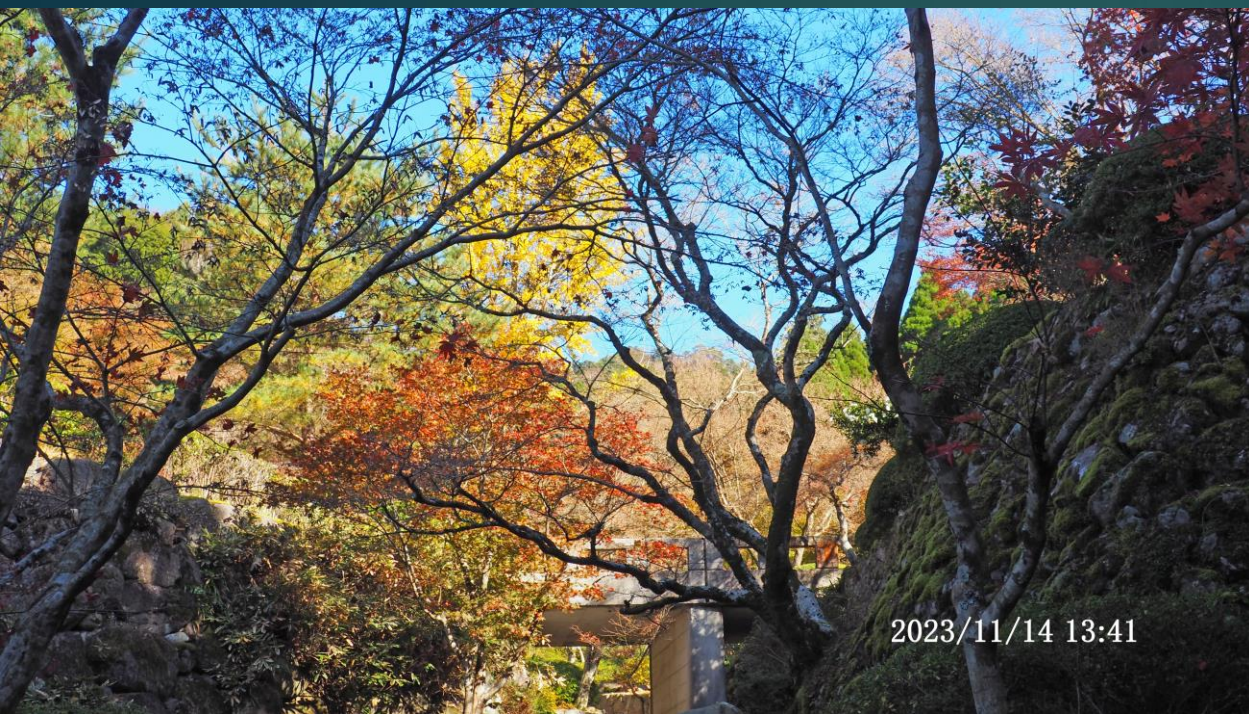
滝之坊碑

鬼杉・玉屋神社方面

現在地

・御社まで 徒歩 5分
・塞ノ神まで 徒歩 8分

2023/11/14 13:40





2023/11/14
13:45



2023/11/14
13:46



2023/11/14
13:47



2023/11/14 13:45



2023/11/14 13:45



2023/11/14 13:49

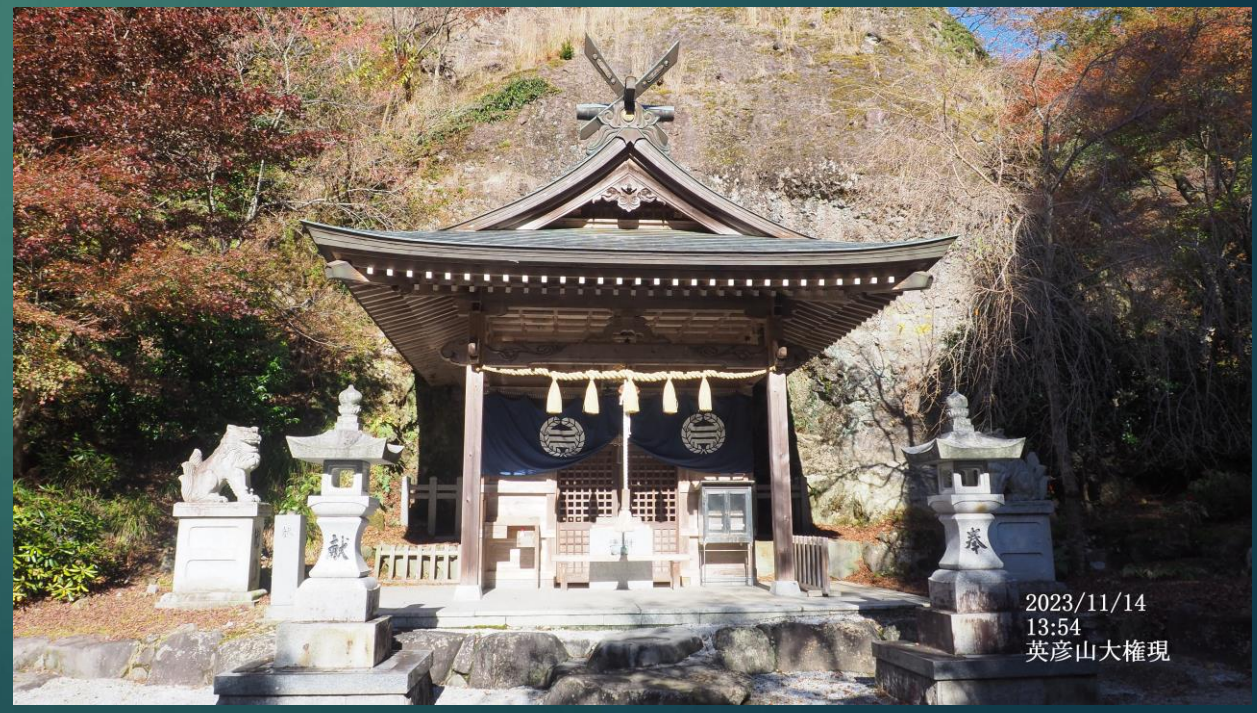


英彦山大権現

2023/11/14
13:48



2023/11/14
13:49



2023/11/14
13:54
英彦山大権現



2023/11/14 13:55



2023/11/14
13:55
英彦山大権現



2023/11/14 13:57
英彦山大権現



2023/11/14 14:08



大権現湯の谷別院



2023/11/14 14:22



2023/11/14 14:24



2023/11/14 14:24
不動明王像



2023/11/14 14:41
英彦山大権現湯の谷別院



2023/11/15 21:45
不動明王像



キッコウハグマ
(亀甲白熊)
キク科



タツナミソウ
(立浪草)
シソ科

END